

「 岐阜県発日本一、世界一 ～6月～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第56回 全日本学生フェンシング王座 決定戦 エ ベ(男子団体)	準優勝	H18.6.4	朝日大 【エ ベ】 鈴木由春 伊藤祐樹 中島大輔 重屋裕一 木内優太		当大会は、本年度関西・関東の春季の優勝、準優勝校が出席し3人総当たりの45本先取制のトーナメントで実施された。 【エ ベ】 準決勝で日体大(関東2位)に45-22で快勝したが、決勝で中央大に36-45で敗れ、初制覇をのがした。
サーブル(男子団体)	3位		朝日大 【サーブル】 浅野慎允 山田貴之 丹羽将之 向竹 淳 八巻貴之		【サーブル】 準決勝で法政大(関東2位)に27-45で敗れたが3位決定戦で立命大に45-26と圧勝した。 (東京都:中央大学)
第84回 全日本ボート選手権大会 男子ダブルスカル	優勝	H18.6.11	山本 亮太 嶋田 盛一 (岐阜経済大)		山本、嶋田組は予選で敗退したが敗者復活戦を勝ち上がり、準決勝1位で決勝に進出した。決勝ではスタートダッシュを上手く決め、そのままリードを保って2位の慶応大に1艇身の差をつけてゴールし初優勝を成し遂げた。岐阜経済大学ボート部は創部6年目で初の全国制覇となった。
女子かじ付き4人スカル	優勝		若井 江利 (早稲田大)	加茂高校卒	昨年同大会において、女子ダブルスカルで優勝した若井は、本大会は種目を変え、かじ付き4人スカルにエントリーした。6月9日におこなわれた予選A組を1位で通過し、決勝では2位のデンソーに約2秒の差をつけて見事優勝した。 (埼玉県:戸田ボートコース)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第39回 全日本社会人アーチェリー 大会 コンパウンド男子の部	3位	H18.6.11	山田 彰 (ト - カ イ)		山田は、優勝を目指して出場した。連覇を果たした種部(東京)に、準決勝で1本差で敗れたが、3位決定戦では山口(千葉)に圧勝した。(秋田県秋田市：特設アーチェリー場)
第75回 日本学生陸上競技対校選手権 大会 女子400m	準優勝	H18.6.9	青木 沙弥佳 (福島大)	県岐阜商高卒	予選は4組1着+4で実施された。2組の青木は1着で余裕を残して通過し、成瀬は4組で優勝した丹野(福島大)に次ぎ2着で通過した。決勝は丹野が52秒39の大会新で優勝し、前半から積極的にとばした青木が準優勝、成瀬が3位と続いた。
	3位		成瀬 美紀 (日本女子体大)	関商工高卒	
女子ハンマー投	準優勝	同日	武川 美香 (中京大)	中津商高卒	2投目の52m58で上位3番目でベスト8に進出した。4投目に56m62と自己の記録を大きく伸ばして2位に進出したが、5、6投目は意気込みが空回りして連続ファウルとなった。
女子400mハードル	優勝	H18.6.11	青木 沙弥佳 (福島大)	県岐阜商高卒	前半の歩数を減らして加速する作戦が功を奏し、勢いを後半に繋げることができた。57秒02は大幅に自己記録を更新するとともに日本歴代3位となる大会新記録となった。
女子200m	準優勝	同日	成瀬 美紀 (日本女子体大)	関商工高卒	予選3組1着、準決勝1組1着と余裕を残して通過した成瀬は決勝でも快走を見せ、学生女子短距離界のエース丹野(福島大)に続いて2着でゴールした。
女子 4x400mリレー	優勝	同日	青木 沙弥佳 (福島大)	県岐阜商高卒	予選5組を荒川・青木・紺野・丹野のメンバーで余裕を持って1着通過した福島大は、決勝で栗本・松田を投入して約7秒タイムを伸ばし圧勝した。
男子 4x400mリレー	優勝	同日	太田 和憲 (東海大)	県岐阜商高卒	予選2組を林・深尾・吉田・佐々木のメンバーで1着通過した東海大は、決勝で深尾に変えて太田を起用し、2位京産大に2秒近くの差をつけて快勝した。 (神奈川県横浜市：日産スタジアム)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度 前期日本卓球リーグ 女子1部 決勝トーナメント	準優勝	H18.6.11	十六銀行 西飯由香 潮崎由香 高橋美貴江 柳 絮飛		<p>リーグ戦を6勝1敗の2位でプレーオフに進出し、準決勝のサンリツ戦は3 - 1で勝利した。</p> <p>決勝の対戦相手は3期連続となる日本生命であった。シングルス西飯敗退のあと、潮崎が3 - 1と勝利したが、続く潮崎・高橋ペアのダブルスと柳のシングルスに敗れ、惜しくも準優勝となった。</p> <p>(茨城県ひたちなか市：市総合運動公園総合体育館)</p>
第48回 日本女子アマチュアゴルフ 選手権競技	第3位 (ベスト4)	H18.6.24	服部 真夕 (名 商 大)	美濃加茂高卒	<p>予選36ホール・ストロークプレーを±0のスコア(10位タイ)でベスト32に進出した。</p> <p>以後マッチプレーの対戦方式となって、1回戦 金田・2回戦 小橋・準準決勝 室井・を破って準決勝に進出したが、善戦及ばず優勝した大津に2 and 1で敗れた。</p> <p>(千葉県千葉市：鷹之台カンツリー倶楽部)</p>